

・／人 広報



主な話題

伊達市立東小学校2年生食育授業
JA女性部秋季視察研修
東関内公共牧場下牧
年金友の会 秋の旅 旅行 その他

11 月号
NO.625



TOPICS

今月の表紙……

伊達市立東小学校2年生との食農教育は児童たちが楽しそうに収穫をやってくれました。調理実習では美味しく食べれたかな？

JA青年部



■ 伊達市立東小学校 2年生食育授業

10月1日(火)、伊達市農協青年部（坂元博行部長）は弄月町の圃場で食育授業を実施しました。

食農教育の一環として伊達市立東小学校の2年生に農業の楽しさや大変さ、食への興味を感じてもらおうと開催したさつまいもの収穫体験は、青年部員よりさつまいもの説明や手掘りの方法、注意事項を説明したのち、シルクスweet 30株と紅あずま70株を小学生や先生を含めた約60人と青年部員7人で約150キロのさつまいもを手掘りで収穫しました。

実際に収穫を体験した小学生たちは一生懸命掘った土の中から出てきた大きなさつまいもに驚いていました。青年部長の坂元博行さんは「こうした食農教育を実施することは伊達市の農業や地域の活性化に繋がる。子供たちに農業の楽しさや苦労を知ってもらい、食の大切さを感じてもらえたことは非常に良いこと。今後も継続していければ良い」と語っていました。

収穫したさつまいもは第7回だて農業・漁業・大物産まつりで販売されたほか、11月中旬に小学生の調理実習に提供されました。また、収穫体験後には青年部員に向けた感謝の手紙を小学生一人ひとりからもらい、くみあいマーケット本店に12月15日(日)まで掲示しています。



さつまいもを手掘りしている小学生

JA伊達市の公式

フェイスブック

Facebook 始めました。

農業・地域に係る
様々な情報を発信して
いきますのでよろしく
お願いいたします！

(担当：営農指導課)





■ 秋季視察研修

10月29日(火)、JA伊達市女性部（穴戸恵美子部長）は江別市近郊へ秋季視察研修を実施しました。

参加したのは女性部員15名、新規就農研修生1名の計16名で最初に訪れた(株)マルナカは、道産小麦を100%使用し、うどんやそばをはじめ冷麦やそうめん等、約30種類以上を製造しており、うどんやそうめんには「きたほなみ」を使用。同じ品種でも産地によって微妙に味や性質が違うのでそれぞれに合うように小麦をブレンドするこだわりを持っていました。また、うどんの一部商品には硬質系小麦の「ゆめちから」を使用した商品も製造しています。

会社の説明を受けた後は乾麺製造工程のDVDを鑑賞し、工場内の製麺、乾燥、裁断、包装の各工程を見学しました。さぬきうどんを意識して作ったという「ぶっかくうどん」を試食した部員たちは、帰りにまとめて購入していました。

次に訪れたのは江別市にある「ゆめちからテラス」。敷島製パンとJA道央が硬質系小麦「ゆめちから」を使った新たな価値の創造を求めて立上げました。全てのパンに北海道産小麦を使用した焼き立てパンのベーカリーや江別市野幌地区の生産者が自ら運営する、のっぼろ野菜直売所や道央圏のミルクを使ったソフトクリーム等を販売するプチキッチンが入った施設です。夢パン工房のもちもちのパンや野菜直売所の珍しい

野菜を買い求めていました。

昼食はくるるの杜農村レストランで直売所の野菜やお肉が農村レストランの食材となり、新鮮な持ち味を生かしたシンプルで温かい家庭料理を堪能していました。

その後、千歳の岩塚製菓直売所に立ち寄り、せんべいやおかき等をお土産に買い、千歳サーモンパークでは孵化事業に用いるサケの親魚をインディアン水車で捕獲する風景や野菜直売所を見学しました。

1日だけではありましたが、普段の農作業から離れ、家族の話や仕事のことなど会話が弾み、賑やかな視察研修となりました。



試食している女性部の皆さん

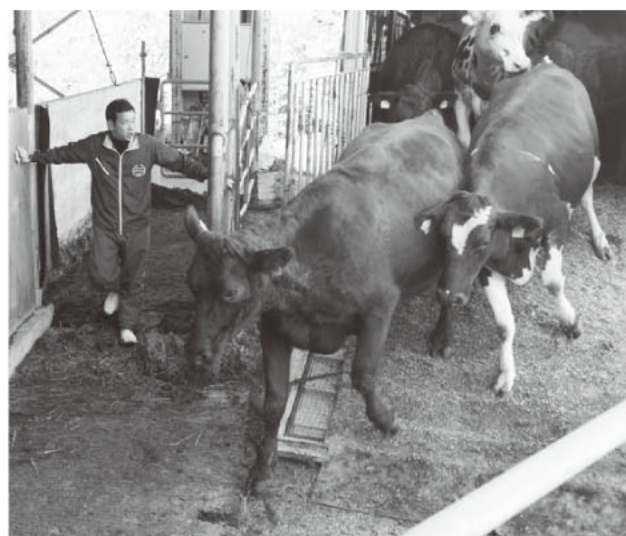
■ 東関内公共牧場下牧

10月16日(水)～18日(金)の3日間にわたり東関内公共牧場で育成牛の下牧作業が行われました。

今年5月中旬に預けられた牛は5か月間で平均70kg増体しました。下牧された乳牛は142頭で生産者のもとへ戻った後に受胎し、搾乳・繁殖牛になり、肉牛37頭は、繁殖・肉用牛になり、合計179頭はそれぞれ活用されていきます。

また、10月11日(金)には登別市公共育成牧場でも下牧作業が行われ、6月に預けられた牛たちが登別市の生産者の元へと戻っていきます。

畜産課は「伊達市や管内の牛生産技術の向上を目指していきたい。今後もより良い牛の生産に尽力したい」と、熱く応えていました。



生産者の牛舎へ戻るようす

■ 種子ばれいしょ選別・袋詰め

10月15日(火)～23日(水)のうち8日間で伊達市馬鈴薯採種組合（松本喬一組合長）は種子馬鈴薯の選別・袋詰め作業を実施しました。

種子馬鈴薯の生産者は稀府地区の4名で、生産面積は約5 ha、生産量は約136トンとなりました。生産された馬鈴薯は主に加工用品種のトヨシロ・ワセシロと生食用品種のキタアカリの3品種で規格外品は加工用馬鈴薯や澱粉原材料として利用されます。

農林水産省植物防疫官による厳しい検査をクリアし出荷された種子馬鈴薯は、当JA生産資材課や馬鈴薯部会、その他各業者へと販売され全道各地へ出荷されます。



選別している生産者の皆さん

農産課は「種子馬鈴薯の面積を維持し、優良な種子生産をしていきたい。」と意欲を高めていました。

年金友の会



■ パークゴルフ 閉幕戦

10月26日(土)、伊達市関内パークゴルフ場にて令和元年度JA伊達市年金友の会パークゴルフ閉幕戦が開催されました。

今年度の最終戦は涼しい秋晴れのスポーツ日和で参加した方々が楽しくプレーしました。

また、結果は以下の通りとなっています。

○パークゴルフ

《男性の部》

- 1位 伊藤 文夫
- 2位 佐藤 繁
- 3位 篠原 裕治
- 4位 堀籠 次男
- 5位 北藤 孝通

ブービー賞

男性 紺野 幸男

《女性の部》

- 1位 篠原ミヤ子
- 2位 北藤 洋子
- 3位 佐藤ハルミ
- 4位 細川タカ子
- 5位 荒 厚子

女性 高野ヒサ子



ハツラツとプレーする会員

■ 秋の旅行

10月17日(木)～18日(金)の2日間、JA伊達市年金友の会では函館・江差方面へ秋の旅行を行い、22名の方が参加されました。

1日目は、江差追分会館にて、郷土芸能の民謡を体感し、実際に使用された山車などを見学しました。開陽丸記念館では座礁した幕末の軍艦の船内展示や松前城を見学しました。

2日目には千代の富士記念館、道の駅きこない、(株)はこだてわいん、道の駅ななえ等を視察し、日頃の疲れを温泉や旅行で癒しました。



松前城の前での記念写真

参加されたみなさんは、秋の美しい景色と美味しい料理を満喫し、とても思い出に残る旅行となりました。



北海道農業協同組合中央会は平成27年の農協法改正により、令和元年9月30日をもって法律上の位置付け農業協同組合連合会に移行しました。改正法では、名称は変更しないことが認められ、事業としては会員の相談、監査、意見の代表、総合調整が規定されており、法律上の位置付けは変わるものの、中央会が果たすべき基本的な機能は変わらないと認識しております。

組織変更に伴い、9月30日に本会役職員に対して飛田会長より訓示を致しました。訓示の内容については、「JA北海道中央会」のYouTubeチャンネルよりご覧いただけます。

今後も引き続き、JAグループの結集軸として、持続可能な北海道農業の確立、農業者の営農と経営の安定、それを支えるJAをサポートする役割をしっかりと果たして参ります。



JA北海道信連



10月5、6日、アクセスサッポロで開催された、こどものまち「ミニさっぽろ2019」に昨年に続きブース出展しました。「ミニさっぽろ」は、子ども達を対象にした職業体験のイベントであり、JAバンクのブースでは各ブースからの依頼を受けて、給料を用意する仕事を体験してもらいました。

子ども達に仕事の大変さや楽しさ、そして金融の大切さを伝える機会を提供することができました。



JA共済連北海道



JA共済連北海道は、平成20年より地域貢献活動の一環として、交通安全啓発運動を北海道警察本部と連携し「旗の波運動」として取り組んでいます。街頭で小旗等を振り、ドライバーに交通安全を呼びかけ、交通事故の撲滅、および交通安全意識の向上を目的に実施しております。

今年度も札幌地区では9月27日に約50名で共済ビル前の街頭で実施しドライバー・歩行者へ交通安全を呼びかけました。



ホクレン



GAP（農業生産工程管理）の推進に向け、ホクレンは、農場評価の演習を盛り込んだ実践研修会を8月26～27日に札幌市内の学校法人・八紘学園北海道農業専門学校を会場に開催しました。参加者は道央圏のJA担当者・連合会職員など約10名で、日本生産者GAP協会の田上隆多事務局長を講師とし、農場評価制度の基本学習や会場となった同校農場にて実際の調査を演習しました。参加者の各組織での今後のGAP推進に期待しています。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

紙面をリニューアルし、より読みやすくさらに健康に役立つ医療・健康情報を発信しております。

10月発行分にはプレゼント付きアンケートもございますので是非応募にもチャレンジしてみてください。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。





▶第38回理事会…令和元年10月29日(火)

- 第 1 号 クミカン供給限度額及び貸越極度額の変更について
- 第 2 号 J A 共済コンプライアンス点検結果及び改善方法の概要について
- 第 3 号 第 2・四半期自己監査結果について
- 第 4 号 東関内公共牧野業務規程の一部変更について
- 第 5 号 災害対策計画(B C P 等)策定について
- 第 6 号 役員改選に関する会議日程について
- 第 7 号 生活事業改善計画の業績予測と今後の運営について

グリーンセンターより

廃プラ回収変更のお知らせ

農業用廃プラの回収日程が変更になりました。お間違えの無いようお願いいたします。また、ご理解で協力よろしくをお願いいたします。

- 場所…伊達市館山町 JA伊達市麦乾施設
- 受入日及び地区

変更前	変更後	地区	時間	対 象
11/14 (木)	11/20 (水)	黄金 稀府 東 中央 室蘭 登別	9:30~ 11:30	○農ビ…ハウスの農ビ 塩ビ管等(硬質塩ビ管は 除く) ○ポリ…マルチ、トンネ ルポリ、ハウスバンド、パ オパオ、発泡スチロール ポリ袋、肥料袋、農薬ポリ 瓶、フレコン、灌水チュー ブ、サイレージ用ラップ クロスシート、水稻育苗 箱、ビート用シート等
11/15 (金)	11/21 (木)	関内 長和 有珠 室蘭 登別	13:30~ 15:30	

※委任状が必要です
印鑑をご持参ください。

■問い合わせ先
生産資材課グリーンセンター
山本 23-6115



未来を変える。 みんなで変える。

国営緊急農地再編整備事業

「伊達地区」 Vol.27

～第1回伊達地区換地検討部会を開催～

換地制度の運用にあたっては、事業採択後に「換地委員会」を設立し、換地に関するルールや土地の評価方法等について、検討・策定することになります。

伊達地区国営緊急農地再編整備事業促進期成会では、国営事業採択後を見据え、事前に換地の知識を深めることを目的として、今年8月に「換地検討部会」を設立しました。10月24日(木)に第1回目の検討部会を開催し、換地委員の役割や換地の基礎について確認しています。

今後も月1回程度継続して開催します。内容については、基礎的なものから徐々に具体的なものにシフトし、専門知識を有する外部講師による講義も予定しています。

事業採択後の換地委員会において円滑に作業が進められるよう、受益者と関係機関、事務局が共同で知識の底上げを図ります。



◆問い合わせ先

伊達地区国営緊急農地再編整備事業
促進期成会事務局
(伊達市経済環境部農務課農地再編推進室内)
TEL0142-82-3201(直通)



人事異動

令和1年10月31日付



退職されました。

氏 名	部 署
佐々木 要司	購買部農機燃料自動車課燃料係



発行 伊達市農業協同組合(営農生産部編集)

〒052-8666 伊達市末永町74 TEL0142-23-2181
E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp http://www.ja-dateshi.or.jp

